



芦ノ湖風景林針広混交林
誘導モデル施業現地検討会

①
まず最初は、奥に富士山を望む
芦ノ湖を囲む森林の状況を見ま
す。

これまで実施してきた施業や風
致林として管理してきた歴史的
な経緯等について、管轄する東
京神奈川森林管理署職員から
説明を受けます。

現状の問題点の共有と理想と
する森林の姿をイメージします。



②
続いて林内へ移動します。

100年を超えるヒノキ林です。
針広混交林化を望む地域の要
望を踏まえつつ、今後どのよ
うな施業をすべきか、思いを巡
らせます。



③
広葉樹の植栽試験地です。

1ha当たり3万本という密度で植
栽しました。

写真でも分かるように周りは針
葉樹人工林です。

植栽から2年が経ちますが、こ
れからどのようになっていくの
か気になるところです。



④
芦ノ湖岸から対岸(東側)を望
みます。

地形に応じて自然成立した森林
を講師の解説とともに観察しま
す。

一辺倒に混交林化や広葉樹化
を図るのではなく、適地適木を
考えなければならないことがよ
く分かりました。



⑤
現地検討会の後は、会議室で
意見交換を行います。

今回の現地検討会には、県、箱
根町、環境省、国有林から総勢
25名が参加しました。

写真奥には神奈川県の准フォ
レスターの方々に座っていた
できました。



⑥
時間の都合で1団体につき1人
に発言願いましたが、准フォ
レスターの方には全員発言をお願
いしました。

お陰で議論も深まりました。

このような検討会を今後も開催
したいと思いますので、次回も
よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。